

かつては洋装で演奏することも非難されたが…



関西から  
文化力  
KANSAI CULTURE POWER

# 梶 寿美子 箏弾き語り

— 箏の音を未来に —

太平洋戦争後の混乱期、貧しい四軒長屋の三女として生まれた梶 寿美子▼一代前であれば、箏を教わることもできなかったが、戦後義務教育化された盲学校で箏に触れる▼やがて箏曲の世界では、耳で憶え口で伝える伝統が壊れ、盲人の居場所はなくなっていく▼その中で教員資格を取得するも、障害を理由に採用を拒絶された梶 寿美子▼独り社中経営に励み軌道に乗せるが、乳癌そして母の痴呆症▼体制に追随し安住することを望まず、人間の争いを憎み、愛を求め、変革を歌い語る箏曲家 梶 寿美子。

<出演> 梶 寿美子と箏アンサンブルプリマルーチェ

<ゲスト> 倉橋義雄(尺八)



<演目>

千秋次郎：遠い国へ（委嘱初演）他

<ナビゲーター> 峯尾武男

<ディレクター> 船阪義一

2004年10月26日(火)

7:00PM開演 (6:30PM開場)

京都府立府民ホール「アルティ」

(地下鉄「今出川」下車、南へ徒歩5分)

入場料：前売¥2,000- / 当日¥2,500-税込(自由席)

チケット前売=大阪アーティスト協会 06-6135-0503、ローソンチケット 0570-00-0403  
京都新聞文化センター075-256-0007、京都ライトハウス 075-462-4400

\*本公演の収益の一部を京都ライトハウスに寄付致します。

主催◆箏アンサンブルプリマルーチェ TEL/FAX 075-213-2125

後援◆京都新聞文化センター、京都ライトハウス

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503 FAX06-6135-0504  
〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-5-25-909



朗読詩「おゆき」で非戦をうたう (昨年10月 於:アルティ)

